

健康推進課

担当：健康づくりチーム 大矢  
(0562-54-1300)

## 命の門番「ゲートキーパー」の証として缶バッジを配布

自殺の危機を示すサインに気づき、適切な対応が取れる人材「ゲートキーパー」の周知を図るため、養成講座を受講された方に対して配布する缶バッジを新たに作成しました。

### 1 概要

自殺の危機に陥っている方の早期発見、早期対応をするため、「知多市自殺対策計画」に基づき、ゲートキーパーの養成を推進しています。

このたび、ゲートキーパーの周知を図るため、ゲートキーパー養成講座を受講された方に対して配布する缶バッジを新たに作成しました。



▲缶バッジ

### 2 ゲートキーパーとは

ゲートキーパーとは、自殺の危機を示すサインに気づき、話を聴いて、見守りながら必要な相談、支援機関につなぐ役割を担う人材のことで、「命の門番」とも位置付けられる人です。

自殺の背景には、過労、生活困窮、育児や介護疲れ、いじめや孤立などのさまざまな社会的要因があることが知られています。自殺はその多くが追い込まれた末の死であり、自殺に追い込まれる危機は、「誰にでも起こり得る危機」です。

専門性の有無に関わらず、それぞれの立場でできることから進んで行動を起こしていくことが自殺対策につながるとされています。

### 3 その他

(1) 缶バッジは直径25mmの丸形で1000個作成しました。缶バッジは、健康推進課が実施するゲートキーパー養成講座を受講された方に対して配布します。

これまでも民生委員、市職員などに対して養成講座を行い、約450名が受講しています。なお、希望される団体があれば随時実施します。

(2) 毎年3月は自殺対策強化月間、9月10日から16日までは自殺予防週間です。期間内は、特に積極的な周知を行います。